

商 況

販賣旬報 第 89 號 昭和 4 年 4 月 22 日

海外便り『英國鐵鋼界より見たる日本市場の重要性』(第一便) 興へられたる問題に對し 1928 年の統計が答ふる處を述べしめよ。

同年に於ける英國の輸出總量は半製品と製品とを合せて 4,261,313 噸、金額に於て 66,801,570 磅なるに對し就中、日本向は 206,203 噸金額に於て 2,648,386 磅であるから、大英國の輸出額に對し日本市場が有する割前は數量に於て、4.8%、金額に於て 4% 弱に過ぎない。

更に之を品目別に大觀する前提として、大英國から年額 5 萬噸以上輸出されるものを摘記すると下の通りである。

銑 鐵	棒鋼類	型鋼類	中厚板類 以 上	薄板類 未 滿	ガルバナイ ズドシート	鋳力板	管及筒	軌條類	繼目板類	鋼線、及 鋼線製品
396,700噸	296,700	81,700	146,900	366,900	718,100	532,400	391,200	399,900	88,100	131,900

以上の數字はその前年分と比較して大差がないから、之を以て英國鐵鋼界が海外市場に對して有する勢力の縮圖と看做して大差あるまい。この間に處して吾が日本市場に興へられたる重要性如何を品目別に點檢して見る。

品 目	輸出總量	内日本向	百分比	年額輸出量の 1/100 にも充たぬものが大英國にとつて殆ど何等の重要性を有せざることは申すまでもあるまい。問題は只一つ黒薄板あるのみである。これは英國輸出量の 40% 弱を占めて居るのであるから、英國鐵鋼界にとつては日本市場を以て相當重要な華客となしつゝある筋合である。
銑 鐵	396,700	6,280	0.2	母國は今や國を擧げて薄板の増産と其の輸入防壁に依る國家的獨立の完成に熱中して居る。川崎、徳山、中山等の増産乃至新設が久しく英米に依つて掌握されつゝあつた國內商權を奪還するの日は何時か。母國の薄板界は輸出總量の 40% を失はむとする英國との抗争に於て益々多事を加ふるでなからうか。(3月20日於倫敦鈴木參事)
棒 鋼	296,700	20,394	0.7	
中厚板類	146,900	8,802	0.6	
薄 板 類	366,900	138,135	37.7	
鋳力板	532,400	25,591	0.5	
管 及 筒	391,200	5,115	0.1	

3 月中鋼材大陸市況一氣迷ひ 先月以來軟調に呻吟してゐた製品市場は 3 月に入るも依然好轉する氣配なく、格別の變化を見ずに上旬を過ぎたが 13 日の立會を迎へるや内地需要の擡頭と獨逸の相場高に刺戟せられて市場遽に活氣を呈した、即ち亞米利加に於ける棒鋼及型物値段の上騰と加奈陀のメーカーが當局になした輸入税率引上の歎願が許可されさうにもないとの期待は兩國の需要を刺戟し、一方南亞よりの買付順調、佛蘭西の需要増加等の好材料に恵まれて、未だ取引の總量に於て増加を見るまでには至らなかつたが、申込の増加に市場一般に硬化したことは事實で上旬 6-2-6 以下を賣唱へられてゐた棒鋼の如きも 6-3-0 を最低價格として 6-3-0 乃至 6-3-6 で取引された。然るに下旬に入り、コンティネンタル・ステイル・インゴット・コンバインが 200 萬噸の増産を決定した最初の立會に於ては喚起せられたるが如くに見受られたる需要も其の歩調を止め、早くも棒鋼 6-2-6 乃至 6-3-0 と賣崩れて了つた、其原因を同組合の増産決定に求める向もあるが此の増産は從來既に實行せられてゐた所を公認したに過ぎぬのであるから其の決定が生産の支配状態に變化を爲すものとは考へられない。

ともあれ斯くして好轉の期待は裏切られて市場は再度閑散と軟調の舊狀に雌伏するの止むなきに至つた。

此の時に當つて我々は更にメーカーを苦境に陥らしめるであらう 2 個の新しい問題を指摘せねばならぬ。

一は目下白國政府に依つて計畫中に屬する工場労働者強制保險制度で、該制度が實施せられることとなれば是に要する費用 1,188,000,000 法の大部分が其負擔者として雇傭者に課せられることである。

更に他の一は工業用燃料の一般的値上斷行と共に熔鑛爐用骸炭が白耳骸炭シンディケートに依つて 4 月 1 日より 25 法方値上せられ 210 法となつたことである。

此等の問題が如何に解決されるか或は如何なる程度の影響を齎すかは今後の興味ある問題として殘されればならぬ。一方半製品市場は依然底堅く本月最後の立會には形式的ながら再び新高値を出現し其品薄は鋼板及薄板に影響して兩者も聊か底堅き氣配を示してゐる。

Brussel Iron and Steel Exchange との相場次の如し (f. o. b. アントワープ)。

月日\品種	棒 鋼	工 形	大形山形	鋼板 3/16"	ピレット(2')
2 月 7 日	6-3-0	5-0-0	5-9-0	6-5-6	
2 月 13 日	6-3-3	5-0-9	5-10-0	6-5-9	5-5-0
2 月 21 日	6-2-9	5-0-9	5-9-3	6-5-9	5-5-0
2 月 28 日	6-2-9	5-0-9	5-9-0	6-5-9	5-6-3

丸鋼需給の趨勢 昭和元年以降丸鋼寸法別供給數量表 (單位噸)

區分 寸法 mm	昭和元年				昭和 2 年				昭和 3 年			
	當所	民間	輸入	計	當所	民間	輸入	計	當所	民間	輸入	計
1/4 (6)	3,629	102	9,456	13,187	3,137	4,517	3,220	10,874	5,478	6,020	3,324	14,822
5/16 (8)	2,598	217	3,824	6,639	3,632	3,343	1,816	8,791	2,986	3,853	2,206	9,045
3/8 (9)	23,184	1,379	27,963	52,526	34,312	15,022	17,411	66,745	41,904	19,372	9,369	70,645
7/16 (11)	1,370	143	157	1,670	1,966	140	281	2,387	1,681	78	80	1,840
1/2 (12)	21,163	29,587	16,474	67,224	24,938	22,172	7,524	54,634	19,963	21,889	3,869	45,721
5/8 (16)	11,056	33,442	10,675	55,174	4,300	32,021	5,838	42,159	2,853	57,871	4,918	65,642
3/4 (19)	5,639	46,007	10,486	62,132	2,247	40,699	5,427	48,373	1,747	63,488	4,215	69,450
7/8 (22)	4,666	34,461	5,665	44,792	2,019	39,045	3,154	44,218	1,093	52,427	3,061	52,581
1 (25)	5,097	42,253	5,594	52,944	2,741	46,131	2,226	51,098	1,723	55,766	1,642	59,131
1 1/8 (28)	1,801	5,394	1,530	8,725	722	7,243	427	8,392	545	8,379	249	9,173
1 1/4 (32)	1,373	5,775	2,222	9,370	1,899	6,638	613	9,150	1,640	8,508	620	10,768
1 3/8 (36)	813	849	232	1,894	382	1,144	203	1,729	213	1,455	243	1,911
1 1/2 (38)	1,092	3,849	2,060	7,005	894	3,716	603	5,213	540	4,157	403	5,162
1 5/8 (42)	1,480	1,115	193	2,788	512	1,210	215	1,937	362	2,449	173	2,984
1 3/4 (44)	2,279	2,866	1,603	6,748	947	2,805	379	4,131	277	5,082	269	5,628
1 7/8 (48)	295	214	136	645	199	208	158	565	59	487	258	804
2 (50)	1,934	2,354	2,317	6,605	2,161	1,535	561	4,257	4,855	725	724	6,304
2 1/8 (55)	78	331	200	609	143	210	142	495	2,232	73	310	2,615
2 1/4 (57)	1,000	793	455	2,248	1,851	477	266	2,594	490	524	270	1,284
2 1/2 (65)	680	1,055	1,384	3,119	1,954	1,129	568	3,651	2,760	706	834	4,300
2 5/8 (67)	15	8	163	186	32	57	212	301	2	172	265	439
2 3/4 (70)	721	409	385	1,515	461	187	175	823	1,066	287	442	1,795
3 (75)	769	689	1,002	2,460	1,650	458	286	2,394	1,790	589	327	2,706
3 1/8 (80)	3	10	134	147	19	22	7	48	368	23	46	437
3 1/4 (83)	354	74	365	793	350	110	171	631	347	155	343	845
3 3/8 (85)	—	19	134	153	—	—	5	5	20	—	18	33
3 1/2 (90)	1,511	17	626	2,154	2,359	144	194	3,697	2,595	176	192	2,963
3 3/4 (95)	260	16	443	719	291	49	150	490	360	34	112	506
4 (100)	1,612	14	577	2,203	2,500	105	350	2,955	3,591	160	152	3,903
4 1/4 (110)	111	—	163	274	28	—	306	334	138	—	549	687
4 1/2 (115)	58	—	433	491	118	34	745	527	73	—	945	1,018
4 3/4 (120)	40	—	79	119	37	1	148	186	11	—	227	238
5 (125)	1,514	—	418	1,932	1,756	74	764	2,594	955	—	765	1,720
5 1/2 (140)	—	—	354	354	56	4	725	785	376	—	614	990
6 (150)	406	—	346	752	786	28	417	1,231	367	—	656	1,023
7 (180)	83	—	205	293	45	31	482	558	92	—	249	341
8 (200)	6	—	373	379	831	—	422	1,253	365	—	389	754
其 他	8	4,675	117	4,800	—	6,977	809	7,786	—	7,705	149	7,854
計	98,703	218,117	108,948	425,768	102,275	237,686	57,230	397,191	105,919	322,610	43,538	472,067

上表に於て先づ總計數量に就て其變遷を見れば昭和 2 年が前年に比し約 3 萬噸の減少となつて居るが此は昭和元年に於ける關稅見越輸入が主要なる原因であつて市場が最も悪化した時期である。それ故其年末に於ける在庫は可なり數量に達した模様なので消費數量は寧ろ昭和 2 年の方が多いのではあるまいかと觀察される。即ち消費量は逐年

増加したと見る方が正當の様である。

次に供給者別に就て見れば、喜ぶべき現象としては輸入の激減を見たことである、之に代つて民間生産高は逐年増加の傾向にあつて特に昭和3年は寧ろ異狀の増加振りにて此儘の趨勢を以て進めば需給の調節を破るのは火を賭るより明であるが昭和4年に於ては民間に生産協定がある模様であるからこれも一片の杞憂となつて穩健な推移をなすものであらう、また現下の情勢にては輸入の餘地は益々極限せらるゝに至つたのであるから、今年に於ては輸入は復又減少するものと思はれる。

主要な寸法の變遷を見るに先づ問題の9mmであるが、其増加率は實に目覺ましく、數量も常に各寸法に冠たるものである。次に12mmは生産及輸入の合計數量は寧ろ漸減の跡を辿つては居るが、消費力としては減少はしないと見る筋が多い様である。然し大した増加は見られないと云ふのは否む事は出来まい、所謂ベース物に就ては條鋼分野協定の成立に依り當然民間の獨壇場になつたとは云へ16mm、19、22、25などが民間生産力の激増によつて輸入は寧ろ減少しながら合計に於て異狀な増加を來たした事が觀取される。然し果して消化力が之に伴ふであらうか大正14年以前の統計を缺くので其趨勢に就ては確たる事は斷言出来ないが、只何となく、あまり急激の増加の様に直觀せられるのである。

東京大阪市中相場

{東京 4月18日
{大阪 4月15日

丸 鋼		等邊山形鋼				工 形 鋼		
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	
6m/m	10.60	10.70	9 × 75 × 75	9.45	9.30	0.36'' × 5'' × 10'' 9.60 9.20		
9	10.50	10.60	9 × 130 × 130	9.70	9.60	鋼 板		
12	"	"	12 × 130 × 130	9.80	10.20	1.6m/m × 3' × 6'	13.20	13.80
19	9.85	9.90	15 × 150 × 150	"	"	16 × 4 × 8	12.00	12.20
25	"	"				3.2 × 4 × 8	13.50	13.50
50	10.60	11.40	不等邊山形鋼			3.2 × 5 × 10	12.00	12.50
65	10.80	11.30	3/8'' × 2'' × 3''	10.50	9.60	3.2 × 5 × 8	11.50	"
	角 鋼		3/8 × 3 × 4	9.70	10.00	6.0 × 5 × 10	11.60	11.80
9m/m	11.10	11.10	3/8 × 3 1/2 × 5	10.50	10.80	9.0 × 4 × 3	11.20	11.30
12	11.50	10.50	3/8 × 4 × 6	9.80	9.60	9.0 × 5 × 10	"	"
15	"	"	1/2 × 4 × 6	10.00	10.80	薄鋼板(13枚)		
19	10.60	10.20	溝 形 鋼			米	73	73.5
38	"	10.00	1/4'' × 2'' × 4''	10.60	10.30	英	72	72
	平 鋼		0.312 × 2 1/2 × 5	10.00	10.00	八 幡	71.5	71.5
1/4'' × 1 1/2	10.10	9.90	3/8 × 3 × 6	10.50	"	鋳 力 板		
1/4 × 2	10.00	9.80	3/8 × 3 × 8	10.30	9.70	米	{170 ^{lbs} 23.20 22.70	
1/4 × 3	"	"	3/8 × 3 1/2 × 10	10.80	10.40	{100 12.80 12.50		
3/8 × 4	10.10	10.00	3/8 × 3 1/2 × 12	16.00	16.00	英	{170 22.70 21.90	
1/2 × 4	"	10.30	工 形 鋼			{100 12.10 11.80		
	等邊山形鋼		1/4'' × 3'' × 6''	10.00	9.40	八 幡	{170 22.70 22.30	
m/m m/m m/m			3/8 × 9 × 12	10.50	11.00	{100 12.10 12.00		
6 × 50 × 50	9.60	9.70	0.28 × 4 × 8	9.70	9.20	線 材		
6 × 65 × 65	9.50	9.40	0.35 × 5 × 12	10.70	10.00	No. 5#	103	101

備考、單位 100 疋につき (置場渡値段)。但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 吨當り。鋳力板は 1 箱當り。

外國爲替市中相場

區分\月日	Apr. 10	11	12	13	15	16	17	18	19	20
日 英	1/10-0	"	"	1/9 - 31/32	"	1/10-0	1/9 - 1/6	1/9 - 27/32	1/9 - 7/8	
日 米	44 - 1/2	"	"	44 - 7/16	"	44 - 1/2	44 - 3/8	44 - 3/16	44 - 1/4	
日 佛	11.20	"	"	"	"	"	"	"	"	

備考 日佛のみ正金建値。

4 月中旬神戸、横濱兩港細丸、總材の輸入

港/寸法	細 丸							線 材			
	1/4"	5/16	3/8	1/2	5/8	計	上中 旬計	B.W.G No.5	其他	計	上中旬計
神 戸	5	—	42	71	84	202	402	3,687	1,223	4,910	8,872
横 濱	112	64	197	138	142	653	2,308	944	102	1,046	3,054
計	117	64	239	209	226	855	2,710	4,631	1,325	5,956	11,936
上中旬計	316	181	857	988	368	2,710		9,515	2,421	11,936	

細丸。跡を絶つべくして絶たない細丸は未だ弗々と入荷を見て居るのが影の薄くなったことだけは慥かである。寧ろ 9m/m より 12m/m の方が比較的多いが市場の「強弱にも」其儘反映して居る。

線材。此分で推移すれば今月も復相當以上の入荷を見るのではあるまいか、西は不相變不冴の商状と云はれるが此數量では無理からぬ事と云はねばなるまい。

東西市況——不引立 例年今月は花見月として氣配も緩み勝ちであるのに加へて、降り降らずの天候關係や、帳端も近づくと云ふ様に荷動きを鈍くする材料が揃つた爲め至つて閑散であるのに反し、入荷は至つて潤澤なので手持豊富となつた、然るに本年は 3 月に於ける型物昂騰の刺戟以來好化の期待が大きかつたので此鈍状を見て嫌氣騷しの模様である、其上大阪の敏感は 2・3 日來新聞に見える金解禁を氣構へて一段と軟弱となつた上、19 日入電の海外運賃値下げの報は東西共益々此勢を助長した様である、然し斯様な弱氣材料も荷動きがあれば雲散霧消するは必然であるから目先の硬軟は一に其消費力の如何にある理である。此間にあつて獨り氣を吐いて居るのは例の鋼板で其昂騰振りには益々鮮かに、前月の型鋼のそれに取つて代つて目覺ましく活躍して居る。

東京市況——丸鋼 一時立直るかと思へた丸鋼も其儘落ち付きとなりベース物は寧ろ小緩みを見せたと云はれて居る。

角、平鋼 角は比較的品薄の爲め駈りにて 19m/m 38m/m など一段と上伸し 15 は反對に入荷によつて再び下押しとなつた。平は殆んど不動、只 1 1/2・2 など 1、20 錢方の低落を見た。

型鋼 等邊はベース物を除けば小締りて 4m/m×45 は 12 圓 50 錢と強調である。不等邊は稍々腰折れ氣味で落ち付きと云はれ、溝工共其後一向不冴軌條物は別として大體此邊と見て居る筋もある。

鋼板。續騰の氣勢不衰、特に 3・2×4×8 の如きは前旬に比し 70 錢方の暴騰振りである。

大阪市況——丸鋼 賣行一段と面白からず先高見越も期待薄の感あり只中丸は引き續き硬化の模様である。

角、平鋼 角は拂底の状態不變、3/16, 1/4, 5/16, 3/8 に幾分引き緩みを見るのみ、平鋼は過般來相當の引き締りを告げたが其後當所品の積出が順潮以上に出廻りたる爲め稍軟化の形勢にあるが全然悲觀する程度には至つて居ない。

型鋼 中型等山は在荷漸減せるも平靜を保ち依然手堅く、不等山又好調、溝は高値後の一服から從來の安値物が品薄の爲め反騰して居る。工は頗る順調に推移し、尙紡績工場の建築に相當消化されて居る。

鋼板 全くの品掠れに賣手稱へ次第の相場を現出して居るが警戒人氣強く先づ絶頂の觀がある。

昭和 4 年 4 月當所製品揚地別發送高 單位噸

揚地別 品名	阪神 地方	京濱 地方	當 所 渡	伊勢灣 東海道 地方	山陰 北陸 地方	内海沿 岸四國 地方	奥羽 地方	關門 九州 地方	北海道 樺太地 方	滿 鮮 支那 支那	臺灣	其他	合 計
鋼 材	官廳向	7,147	9,223	61	26	231	1,118	16	4,166	1,550	4,437	—	28,235
	民間向	28,608	19,761	5,625	2,415	11	62	220	1,210	1,294	595	—	59,801
	計	35,755	28,984	5,686	2,441	242	1,180	236	5,376	2,844	5,032	—	88,036
鋼片及鋼塊	527	2,167	3,030	25	—	579	—	3,574	—	—	—	—	9,902
副 製 品	56	1,197	12,109	300	—	900	—	7,162	—	—	—	—	21,721
合 計	36,338	32,348	20,825	2,766	242	2,659	236	16,112	2,844	5,032	—	260	119,662

昭和4年3月中神戸、大阪、横濱、三港品種寸法別輸入高表 單位、噸

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
鐵鋼/部	19	2 1/4	2	2 1/2	28	5 1/2 × 2 1/2	566	3 1/2 × 2 1/2	51	46	鋼板(0.7m/m, P.T.F)	15	1 1/4	3	1 1/2	36	鋼丸	1	1 1/4	1
鋼	724	3 1/4	10	3 1/2	2	4 × 4	33	5 × 4	30	2	6 heets	6,321	1 1/2	3	1 1/2	66	鋼	3	1 1/2	3
鋼	197	3 1/2	4	4	4	20 × 6 1/4	85	5 × 3 1/2	51	9	8"	19,051	2	7	2	鋼	7	2	7	2
鋼	1,329	4	11	4	4	20 × 6 1/2	79	合 計	315	1	9"	8,872	1 1/2	13	1 1/2	鋼	13	1 1/2	13	1 1/2
鋼	10	5	17	4	4	20 × 7 1/4	21	合 計	2,507	5	10"	8,872	2	13	2	鋼	2	2	2	2
鋼	1,641	6	10	4	4	24 × 7	47	合 計	10,326	50	11"	8,872	3	13	3	鋼	3	3	3	3
鋼	10	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	12"	8,872	4	13	4	鋼	4	4	4	4
鋼	10	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	5	13	5	鋼	5	5	5	5
鋼	677	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	6	13	6	鋼	6	6	6	6
鋼	138	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	7	13	7	鋼	7	7	7	7
鋼	10	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	8	13	8	鋼	8	8	8	8
鋼	138	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	9	13	9	鋼	9	9	9	9
鋼	10	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	10	13	10	鋼	10	10	10	10
鋼	162	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	11	13	11	鋼	11	11	11	11
鋼	173	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	12	13	12	鋼	12	12	12	12
鋼	10,934	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	13	13	13	鋼	13	13	13	13
鋼	16	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	14	13	14	鋼	14	14	14	14
鋼	44	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	15	13	15	鋼	15	15	15	15
鋼	27	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	16	13	16	鋼	16	16	16	16
鋼	20	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	17	13	17	鋼	17	17	17	17
鋼	16	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	18	13	18	鋼	18	18	18	18
鋼	44	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	19	13	19	鋼	19	19	19	19
鋼	27	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	20	13	20	鋼	20	20	20	20
鋼	20	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	21	13	21	鋼	21	21	21	21
鋼	20	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	22	13	22	鋼	22	22	22	22
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	23	13	23	鋼	23	23	23	23
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	24	13	24	鋼	24	24	24	24
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	25	13	25	鋼	25	25	25	25
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	26	13	26	鋼	26	26	26	26
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	27	13	27	鋼	27	27	27	27
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	28	13	28	鋼	28	28	28	28
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	29	13	29	鋼	29	29	29	29
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	30	13	30	鋼	30	30	30	30
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	31	13	31	鋼	31	31	31	31
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	32	13	32	鋼	32	32	32	32
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	33	13	33	鋼	33	33	33	33
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	34	13	34	鋼	34	34	34	34
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	35	13	35	鋼	35	35	35	35
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	36	13	36	鋼	36	36	36	36
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	37	13	37	鋼	37	37	37	37
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	38	13	38	鋼	38	38	38	38
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	39	13	39	鋼	39	39	39	39
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	40	13	40	鋼	40	40	40	40
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	41	13	41	鋼	41	41	41	41
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	42	13	42	鋼	42	42	42	42
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	43	13	43	鋼	43	43	43	43
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	44	13	44	鋼	44	44	44	44
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	45	13	45	鋼	45	45	45	45
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	46	13	46	鋼	46	46	46	46
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	47	13	47	鋼	47	47	47	47
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	48	13	48	鋼	48	48	48	48
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	49	13	49	鋼	49	49	49	49
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	50	13	50	鋼	50	50	50	50
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	51	13	51	鋼	51	51	51	51
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	52	13	52	鋼	52	52	52	52
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	53	13	53	鋼	53	53	53	53
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	54	13	54	鋼	54	54	54	54
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	55	13	55	鋼	55	55	55	55
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	56	13	56	鋼	56	56	56	56
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	57	13	57	鋼	57	57	57	57
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	58	13	58	鋼	58	58	58	58
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	59	13	59	鋼	59	59	59	59
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	60	13	60	鋼	60	60	60	60
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	61	13	61	鋼	61	61	61	61
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	62	13	62	鋼	62	62	62	62
鋼	1	6	10	4	4	24 × 7 1/2	2	合 計	23,430	50	13"	8,872	63	13	63	鋼	63	63	63	63</

昭和4年2月中民間棒鋼生産高表 單位噸

寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量	寸法	重量
丸	鋼	丸	鋼	丸	鋼	丸	鋼	角	鋼	平	鋼
1/4"	376	1	6,838	2 1/2	79	5 1/2	177	計	124	2 5/8-3	213
5/16	3	1 1/8	1,060	2 5/8	20	其他	568	平	鋼	3 1/8-3 1/2	63
3/8	1,165	1 1/4	958	2 3/4	9	計	33,336	3/4"	6	3 5/8-4	176
7/16	5	1 3/8	245	3	48	角	鋼	1/16	1	4 1/4-5	34
1/2	1,614	1 1/2	494	3 1/8	2	1"	62	7/8	4	5 超	19
9/16	18	1 5/8	360	3 1/4	691	1 1/8	1	1	323	其他	13
5/8	5,151	1 3/4	454	3 3/8	9	1 1/4	9	1 1/4	80	計	1,510
11/16	14	1 7/8	12	3 1/2	83	2	35	1 1/2	181	總計	34,970
3/4	6,399	2	285	3 3/4	153	2 1/2	6	1 3/4	87		
13/16	17	2 1/8	5	4	32	3	6	2	106		
7/8	5,713	2 1/4	9	4 1/2	262	3 1/2	5	2 1/8-2 1/4	204		

販賣旬報 第90號 昭和4年5月1日

海外便り『英國に於ける鉄力板製造工業と日本市況』第二便

(1) 全英國に於ける鉄力板の生産高、海外輸出高及日本向輸出高は下の通りである。

區分\年次	1927年	1928年	即ち全英國の生産高は吾が八幡工場の年間生産高を1萬7,000噸と見た場合の約50倍であり、本邦の年間需要額を7萬噸と見た場合の約12倍に相當する、而も生産の約70%は輸出として消化されてゐる。
全生産高	749,800噸	864,700噸	
海外輸出高	472,029	532,442	
日本向輸出高	15,666	25,581	

(2) 英國には、鉄力板の生産調節及販賣値段の協定を目的とした強大なる組織がある、South Wales Tinplate Corporation Ltd. が即ちそれであつて同地方の主要工場を網羅し全英國生産高の約75%に亘る生産及び販賣をコントロールしてゐる。従て其の outsider と云ふが如きもこの組織外にあるにはあつても殆んど全く同組合の政策に追随するの餘儀なき立場にあるが故にこのコーポレイションの活動が即ち全英斯界の活動と看做して差支ない、其の加盟工場中主要なるものを擧ぐれば次の通りである。

Richard Thomas & Co.	Grovesend Steel & Tinplates Co.	斯くも事情を異にする數多の會社が相集つて斯くも強大なる組織を形成し、あたかも一社の如く行動して一絲亂るゝ無き統制を保ちつゝ、小異を捨て、大同に就き共同の利益に猛進する有様は吾等の深く學ばねばならぬ點であらう。
St. Davids Tinplates Co.	Kidonelly Tinplates Co.	
Villers Tinplates Co.	W. Gilbertson & Co.	
Ashburnham Tinplates Co.	Baglan Bay Tinplates Co.	
Resolven Tinplates Co.	Ferry Tinplates Co.	
Aberaven Tinplates Co.		

らぬ點であらう。

(3) 此の組合の首腦者は昨年10月米國に渡つて彼の地の斯業界と相圖つて輸出數量の割當に關する協議を完成した、其は全英國と全米國との協定である。即ち英國は全輸出の7割を残る3割は米國が之を保有することとし、倫敦に特設せられた中央機關が兩國各社からの報告に基いて兩國の輸出割當、其の他をコントロールするのである、最近に至つて大陸でも亦この協定に参加せしめんとする計畫あるやに聞くが、まだ實現するや否や不明である。

(4) 此處に留意を要するは日本向輸出に限つて此の兩國協定の中から除外せられ、世界各國の自由競争市場として残されたことである。日本は其の市場向は八幡の支配する處であり、實需向は品質の點から英國品を嫌ふの傾向があり、目下の所英國と日本とは必しも密接な關係にありと言ふことは出來ない。従て日本市場を協定から除外してゐると言ふことは大體に於て米國の獨占に一任すると言ふ默契の表現と見られぬでもない。

それにしても鉄力板の需要年額7萬噸と云ふ點にのみ着眼するならば日本は米英の領土に外ならぬ、スワンシーやニューボートの上屋と云ふ上屋の凡てが山と積れた輸出向鉄力板に充満し各國の汽船が先を争つて積込んでゐるのを

見た時は此の點に關して殆んど何等の對策を持たぬ母國を省みて轉た感慨に耐へぬものがあつた。

(スワンシーにて 鈴木參事)

昭和3年本邦鐵鋼材輸入概況 最近10ヶ年、本邦鐵鋼材輸入額を比較すれば

大正13年	1,151,676 噸	199,162,122 圓	昭和3年鐵鋼材輸入金額は我國輸入品目中の筆頭棉花の5億4,000萬圓に比べては遙かに少いが、夫でも本邦輸入總額22億圓の約5%の多量を占め、入超2億2,000萬圓の過半に該當してゐる。
同14年	531,034	91,290,137	
昭和元年	923,028	114,391,639	
同2年	899,108	108,022,520	
同3年	908,705	113,755,977	昭和3年中鐵鋼材輸入高を概観して注目すべきことは

第1に近時内地市場に於ける鐵鋼材の著しき需要増加に對しては専ら内地産額の増大に依つて其要求に應じ、輸入は之に伴ふことなく依然として現状を維持するに過ぎないことは、一面に於ては本邦市場が内主外従の喜ぶべき正道に立歸つたことを示し、他面内地産額との比率上、輸入の我市場に占める重要性を著しく減少してゐることを物語る。

第2は數年前迄に隔年輸入數量の増減著しく、市場は常に不安裡に推移したが、最近3ヶ年の輸入を見るに其數量略々一定し思惑の風潮全く影をひそめ、内地製鐵業並に取引市場の健實なる進展を裏書してゐる。

第3に品種別に輸入の盛衰を點檢するに

	昭和元年	2年	3年		昭和元年	2年	3年
鋼片、鋼塊、シートバー	33,021	87,746	89,228	硅素鋼板	10,727	10,211	9,615
條鋼類	278,294	206,158	141,911	線材	117,969	109,089	172,644
鋼板(厚0.7耗超)	62,540	54,072	77,742	軌條及繼目板	98,290	92,956	47,641
薄板(厚0.7耗以下)	187,618	175,394	183,468	鋼管	51,985	56,408	59,113
鋳力板	49,985	61,051	72,115				

條鋼の激減振りは今更贅言を費すの必要はないが、軌條の如き我需要25萬噸は完全に本所の抱擁に委し、輸入は僅かに特殊軌條によつて餘命を繼いでゐるに過ぎない。最も増大したのは線材で、黒薄板と共に依然輸入鐵鋼材中の大宗である。鋳力及鋼管は之に次いでゐる。厚中板が減少の跡を示さぬのは無稅造船材の多量なる結果で、鋼塊、鋼片、シートバー等の半成品の増加は我壓延業界の好況を反映したものであらう。

7月積先物賣行概況—鋼板申込2萬噸突破

一、條鋼

(1) 賣出噸數

線材	1,2小形	3小形	1中形	2中形	1大形	2,3大形	軌條	計
100	500	400	1,500	1,500	1,500	1,000	—	6,500

(2) 揚地別申込噸數

	東京	大阪	名古屋	其他	計		東京	大阪	名古屋	其他	計
丸	3,570	2,058	764	417	6,809	不等邊	475	1,192	30	20	1,717
角	940	835	257	125	2,157	溝	785	1,686	34	19	2,529
平	710	765	409	691	2,575	工	535	830	15	15	1,395
等邊	700	1,183	61	120	2,064	計	7,715	8,549	1,570	1,107	19,241

(3) 引受噸數(括弧内は定期)

	線材	1,2小形	3小形	1中形	2中形	1大形	2,3大形	軌條	計
丸	100	—	340	—	620	—	—	—	1,060
	(500)	—	(4,330)	(965)	—	—	—	—	(5,795)
角	—	187	—	200	598	—	—	—	985
	—	(680)	—	(130)	(295)	—	—	—	(1,105)
平	—	242	—	849	—	—	—	—	1,091
	(—)	(2,655)	—	(885)	—	—	—	—	(3,540)
等邊	—	74	60	—	260	50	661	—	1,105
	—	(305)	(130)	—	(305)	(65)	(759)	—	(1,564)
不等邊	—	—	—	407	230	663	230	—	1,530
	—	—	—	(185)	(435)	(1,006)	(300)	—	(1,926)
溝	—	—	—	140	—	711	77	—	928
	—	—	—	—	(50)	(567)	(188)	(240)	(1,045)
工	—	—	—	—	—	78	30	—	108
	—	—	—	—	—	(145)	(455)	(60)	(660)
計	100	503	400	1,596	1,708	1,502	998	—	6,807
	(500)	(3,640)	(4,460)	(1,200)	(2,050)	(1,783)	(1,702)	(300)	(15,635)

2、鋼板						實需向			500	500
(1) 賣出噸數						計			1,200	1,530
厚板	1 中板	2 中板	計			(2) 引受噸數				
600	400	300	1,300			170 封度	100 封度	オイル サイズ	計	
(2) 揚地別申込噸數						市場向	362	242	96	700
	東京	大阪	名古屋	其他	計	實需向	150	150	200	500
厚板	1,572	1,970	886	563	4,991	計	512	392	296	1,200
1 中板	2,778	2,390	561	432	6,161	4、線材 (括弧内ハ定期)				
2 中板	3,796	3,590	725	756	8,867	(1) 賣出、申込、引受噸數				
計	8,146	7,950	2,172	1,751	20,019	線材	賣出	申込	引受	
(3) 引受噸數(括弧内ハ定期)							600	3,446	600	
厚板	1 中板	2 中板	計				(720)		(720)	
600	400	300	1,300			製釘材	3,000	3,000	3,000	
	(940)	(755)	(1,700)			計	3,600	6,440	3,600	
3、鉄力板							(720)		(720)	
(1) 賣出申込噸數						5、黒板				
		賣出	申込			賣出	申込	引受		
市場向		700	1,030			2,000	3,340	2,000		

賣出と引受

定期は不變。先物中、條鋼は線材、3 小形の兩王場は別として其他の工場に於ては能率の増進により餘力を見出したので前月よりも 1,500 噸の増加賣出となつた。鋼板は市場の需要に鑑み厚板及 2 中板に於て 300 噸の増加となつた、引受に於ては前月が今月の賣出數量と殆んど同様な程度迄の超過引受をなしたので大した變動もないが條鋼は前月に比し、2 3 大形の超過約 500 噸が無い外大なる變りもなく。鋼板も結局に於て前月より 1 中板で 100 噸増加したのみである。

申込數量

條鋼。總數量は前月の 15,719 噸に比し約 3,500 噸の増加であるが之を地方別に見ると大阪は殆んど變りざるも東京の約 2,000 噸を出頭に「名古屋」及び「其他」共増加して居る、又品種別に見れば、丸は各地共増加であるがこれは市場に於ける中丸以上の好況を反映したものであらう。角の 1,000 噸以上の増加も同様の結果と見ることが出来よう、平も前月が激減の反動として今日は約 1,000 噸の増加となつた型鋼は等邊に於て東京が約 500 噸の増加を見た外、先月の様に熱はなく冷靜に還つて皆減少の傾向を辿つて居る。

鋼板。市場の昂騰氣分を映して各地各工場共前月に比し申込が増加して居るが、1 中板は各地共平均増加して、1,600 噸の増加となり 2 中板は特に大阪が激増して總計に於て約 2,000 噸の増加を示した。

鉄力。線材。黒板。鉄力線材は大なる變化もない。黒板は今月初めての申込であるから未だ比較すべきこともない。

4 月下旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

港\寸法	細丸					計	4月合計	線材		計	4月合計
	¼"	⅝"	¾"	⅞"	1"			B.W.G.No.5	其他		
神戸	50	—	—	19	10	80	482	2,285	41	2,326	11,198
横濱	37	21	213	335	20	626	2,934	421	1	422	3,486
計	88	21	213	354	30	706	3,416	2,706	42	2,748	14,684
4月合計	404	202	1,070	1,342	398	3,416		12,221	2,463	14,684	

備考 神戸自 4 月 18 日至 27 日、横濱自 4 月 16 日至 25 日

細丸。3 月中にて輸入も大體終了となる模様に見えたが、實際は 4 月中に於ても約 3,000 噸の入荷を數ふるに到つた、其内でも 12m/m が割合に多いと云ふ事實に變りなく従つて市價も 9m/m に比し未だ下押氣味と云はれてゐる。

線材。これも細丸と同様に輸入減の噂を裏切つて豫期以上の入荷を見た、其爲大阪市場は日に日に軟弱となり、此

下押歩調が何時止まるかの見當も付かなくなつたと云はれて居る。此兩者に就て見ても如何に統制の無い輸入と云ふものの市場に於ける豫想が事實に反し勝ちであるかと云ふことが分らうと思ふ。

附記 永い間問題の中心となつて居た細丸の輸入も、どうやら先も見えた様なので、毎旬の速報も今回を以て愈々打ち切とすることゝした。之に代つて、常に輸入數量の多寡に依つて市場が左右せられる 0.7 耗以下の薄板及鉄力の速報を來旬より開始する豫定である。

東西市況—荷動き鈍し 5月の需要期を眼前に控へ、來勘を一轉機として相當の荷動きを豫想せられた地場は、突如として起つた海外運賃 5 志安の報に氣勢を挫かれ、其上今直ぐに實現は期待されない迄も兎に角「金解禁」と云ふ弱氣材料の聲に脅かされて氣迷ひとなつた、従つて實需家筋も此等の原因による押目待に買控へる爲市内、地方共取引至つて閑散となり、猶問屋仲間も目先の不安から、寧ろ手持の消化に努めると云ふ有様故「無い高」で昂騰して居る特殊な状況にある鋼板を除いては反撥の氣勢もなく、季期外れた沈滞の域にあると見られて居る。

東京市況

丸鋼 ベース物、細丸共入荷の割に消化伴はず氣配は軟弱なるも、現在入荷品の高値により下支へられて、思ひ切つて下押しもなく推移して居る、只中丸以上は相場としては小緩みなるも品薄の爲先行は悲觀されては居ないと云はれて居る。

角、平鋼 角は未だ入荷を見ず品薄の爲駭りにて特に 12m/m 及び 19 は上放れた、只 15m/m は大阪に比すれば相當高値にはあるも東京としては伸鐵の補充により小甘くなつた、平は一巡して頭重の感あり、然し例外として 3/4 × 2 が 13 圓 3、50 錢、7/8 × 3 が 13 圓 搦みと云ふ突飛の高値を呼んで居るものがある。

型鋼 總じて他の鋼材に比しては仲間取引も相當に活潑で目先に對しても別段悲觀せられては居ないと云はれて居る。等山は 6 × 50 × 50 がナリ高である外目立つたものもなく在庫は可なり減少した模様であるが其割にはハツキリしないと云はれて居る、不等山、工型は落ち付きなるも、工型 1/2 × 6 × 12 は 13 圓 丁度と高値を吹き、溝型は目先猶好望を傳へられ、問題の 3 1/2 × 12 に繼いで 4 × 15 が品掠れの爲 14 圓 50 錢搦みと云ふ狂相場を出して居る。

鋼板 品薄もさることながら、突飛な西高に煽られて益々暴騰氣勢を高め、近き將來には 11 圓 50 錢以下のものなきに到るべしなど云はれる程で特に 3.2 × 4 × 8 など前旬に比し 5、70 錢月初めから見ると實に 1 圓 50 錢搦みの暴騰振りである。

大阪市況

丸鋼 民間製鋼業者の生産制限の發表も未だ市況には反響薄く、引き續き下げ足止まらずベース物一段と下押氣味である、細丸も目先の荷問へに頭重なるも輸入は一段落の模様と見られて居る。

角、平鋼 角の好調は不變、漸く品薄時代を出現して、今は寧ろ消化に對する補充に苦心さる様になつた、然し 1ヶ年の全需要額が 4 萬噸内外と云ふ貧弱な數量故此好調も其永續性に對しては、さう大した期待も持てないではなからうか。平は角とは反對に高値契約品の入荷によつて漸く不引合の聲が大きくなつたが尙安値契約品の手持もあり先づ平均して現在の市價は止むを得ざるものと見られて居る。

型鋼 中型等山は需要も相當増加して居るが、手持に支へられてか未だ冴えざる恨がある、大型等山及び不等山は依然手堅く相當の活躍を見せて居る。工型は區々ながら總じて堅調を失はず溝型の引き締りと共に目先猶一段と望をかけられて居る。

鋼板 所謂黄金時代とも謂ふべきか、市場の人氣を掻き集めては居るが、元來が無い物高のこと故其聲の大なるに比して取引は添はない様に見られて居る。

外國爲替市中相場

區分\月日	Apr. 20	22	23	24	25	26	27	30
日 英	1/9 - 1/16	1/10 - 1/16	1/10 - 1/8	"	"	"	1/10 - 3/16	
日 米	44 - 3/8	44 - 5/8	44 - 3/8	44 - 5/8	"	44 - 3/4	44 - 7/8	
日 佛	11.21	11.25	11.30	11.25	"	11.30	"	

備考 日佛のみ正金建値。

昭和4年3月中當所品種寸法別生産高表 單位、磅

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
條鋼/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		鋼板/部		
丸	321	等邊山形	59	0.7m/m	以下鋼板	166	0.35m/m	板	386	2	1,949	2	1,949	線材及	材	774	鋼	塊
6	6-5	40x40	146	B.W.G.No.	33	150	0.43	0.43	152	2	513	2	513	普通鋼塊				116,620
7	7-5	60x60	1,203	31	81	29	299	1	1,654	1	205	1	205	電氣爐鋼				450
8	8-5	70x70	1,828	30	34	143	187	4	1,654	4	299	4	299	計				15
9	9-5	75x75	3,299	29	34	143	187	6	1,654	6	299	6	299	計				117,085
10	10-5	計	3,299	23	143	143	187	3	1,654	3	299	3	299	鋼片				109,386
11	11-5	不等邊山形	259	13	1,347	54	29	4	1,654	4	299	4	299	ト				4,659
12	12-5	3"x2 1/2"	558	7	1,975	1,975	29	5	1,654	5	299	5	299	層				2,730
13	13-5	3 1/2"x2 1/2"	113	計	1,975	1,975	22	10	1,654	10	299	10	299	短				1,474
14	14-5	4"x3 1/2"	339	0.7m/m	鋼板	21	22	11	1,654	11	299	11	299					
15	15-5	5"x3	400	0.8m/m	21	33	23	11	1,654	11	299	11	299					
16	16-5	5"x3 1/2"	1,542	1.0	2	2	22	3	1,654	3	299	3	299					
18	18-5	7"x3 1/2"	26	1.2	2	2	22	4	1,654	4	299	4	299					
19	19-5	計	3,222	1.4	2	2	22	7	1,654	7	299	7	299					
20	20-5	工	鋼	1.6	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
22	22-5	5"x3"	93	1.8	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
24	24-5	6"x3	619	1.85	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
25	25-5	1"x4 1/2"	57	1.9	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
26	26-5	6"x5	129	2.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
27	27-5	18x7	1,038	2.3	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
28	28-5	24x7 1/2"	152	2.4	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
30	30-5	計	2,088	2.4	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
31	31-5	溝	鋼	2.4	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
32	32-5	6"x2 1/2"	433	2.5	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
36	36-5	6"x3	351	2.6	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
50	50-5	8"x2 1/2"	87	2.8	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
55	55-5	8"x3 1/2"	139	3.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
65	65-5	8"x4	67	3.2	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
70	70-5	10"x3 1/2"	400	3.2	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
85	85-5	計	1,477	3.5	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
95	95-5	Z	鋼	3.759	3.759	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
100	100-5	100x70x60	139	4.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
110	110-5	計	139	4.5	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
115	115-5	型鋼合計	10,225	5.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
120	120-5	條鋼合計	32,666	6.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
125	125-5	火床用平鋼	11,542	6.4	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
135	135-5	計	11,542	6.5	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					
角	12m/m	145	條鋼合計	22,441	7.0	1,186	8	29	1,654	20	299	20	299					
12m/m	145	條鋼合計	22,441	8.0	1,186	8	29	20	1,654	20	299	20	299					

東京大阪市中相場 (東京 4月27日 大阪 4月25日)

丸			等邊山形鋼			工形鋼		
東京	大阪		東京	大阪		東京	大阪	
6m/m	10:60	10:50	9x75x75	9:45	9:30	0.36'x5'x10"	9:60	9:20
9	10:50	10:30	9x130x130	9:70	9:80	鋼板		
12	10:40	"	12x130x130	9:80	10:40	1.6m/mx3'x6'	13:40	14:20
19	9:80	9:70	15x150x150	9:70	10:20	1.6x4x8	12:00	12:20
25	"	"				3.2x4x8	14:20	14:30
50	10:40	11:50	不等邊山形鋼			3.2x5x10	12:20	12:40
65	10:60	"	3/8" x 2" x 3"	10:40	9:60	6.0x4x8	11:50	12:50
			3/8" x 3 x 4	9:70	10:00	6.0x5x10	11:60	"
			3/8" x 3 1/2 x 5	10:40	10:70	9.0x4x8	11:20	11:30
			3/8" x 4 x 6	9:80	9:60	9.0x5x10	"	"
			1/2" x 4 x 6	10:00	10:80			
			溝形鋼			薄鋼板(13枚)		
			1/4" x 2" x 4"	10:60	10:30	米	73	725
			0.312x2 1/2 x 5	9:90	10:00	英	72	71
			3/8" x 3 x 6	10:50	"	八幡	71	71
			3/8" x 3 x 8	10:30	9:80	鈦力板		
			3/8" x 3 1/2 x 10	10:80	10:80	米 {170lbs	23:20	22:50
			3/8" x 3 1/2 x 12	16:50	16:50	{100	12:80	12:50
			工形鋼			英 {170	22:70	21:80
			1/4" x 3" x 6"	10:00	9:40	{100	12:10	11:80
			3/8" x 6 x 12	10:50	11:00	八幡 {170	22:70	22:20
			0.28 x 4 x 8	9:70	9:20	{100	12:10	12:00
			0.35 x 5 x 12	10:70	10:00	線材		
						No. 5#	103	100

備考 單位 100 疋につき(置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鈦力板は 1 箱當り。

昭和4年3月棒鋼寸法別揚地別引渡高表

區分 寸法	丸				鋼				合計	區分 寸法	丸				鋼				合計			
	民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼						民間向普通鋼				官廳向及規格品並特殊鋼							
	阪揚	京濱	其他	計	阪揚	京濱	其他	計		阪揚	京濱	其他	計	阪揚	京濱	其他	計					
5.5m/m	—	—	—	—	—	—	6	6	6	70	53	34	26	113	—	—	15	15	128			
6	379	167	70	616	—	—	1	1	167	75	310	153	39	502	2	—	44	46	348			
6.5	—	—	—	—	—	—	7	7	287	80	—	—	—	—	—	—	8	8	8			
8	100	159	21	280	—	—	14	14	2,419	85	100	—	—	100	—	—	—	—	100			
9	837	1,351	217	2,405	—	—	18	18	18	90	30	—	—	30	241	—	58	299	329			
10	—	—	—	—	—	—	22	22	22	100	55	—	—	55	72	—	253	335	390			
11	—	—	7	7	—	—	—	—	7	100超	—	18	—	18	13	162	195	370	388			
12	1,221	1,159	301	2,681	—	—	50	50	2,731	計	3,467	3,251	816	7,534	362	162	1,625	2,149	9,683			
13	—	—	—	—	—	—	8	8	8	角									—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	68	68	68	12m/m	37	1	25	63	—	—	—	—	63			
16	—	—	—	—	—	—	30	31	31	13	1	—	—	1	—	—	—	—	1			
18	—	—	—	—	—	—	131	131	131	14	181	10	—	191	—	—	—	—	191			
19	—	—	—	—	—	—	52	52	52	15	211	29	77	317	—	—	—	—	317			
20	—	—	—	—	—	—	23	23	23	16	196	—	5	201	—	—	1	1	202			
21	—	—	—	—	—	—	48	48	43	19	120	—	—	120	—	—	1	1	121			
22	—	—	—	—	—	—	49	49	49	22	9	—	—	9	—	—	3	3	12			
24	—	—	—	—	—	—	35	35	35	25	5	—	5	10	—	—	1	1	11			
25	—	—	—	—	—	—	148	148	148	28	13	—	—	13	—	—	—	—	13			
27	—	—	—	—	—	—	4	4	4	30	—	—	—	—	—	—	1	1	1			
28	—	—	—	—	—	—	39	40	40	32	44	—	28	72	—	—	—	—	72			
30	—	—	—	—	—	—	40	41	41	38	13	5	—	18	—	—	1	1	19			
32	—	—	—	—	—	—	18	18	18	44	108	12	8	128	—	—	1	1	129			
35	—	—	—	—	—	—	5	5	15	50	15	—	—	15	—	2	15	17	32			
36	—	—	—	—	—	—	18	19	19	55	—	—	—	—	—	—	1	1	1			
38	—	—	—	—	—	—	24	24	24	60	—	—	—	—	—	—	2	2	2			
40	—	—	—	—	—	—	27	27	27	65	1	1	—	2	—	—	3	3	5			
42	—	—	—	—	—	—	4	4	4	70	—	—	—	—	—	—	2	2	2			
44	—	—	—	—	—	—	32	2	32	75	36	1	—	37	52	8	11	71	108			
48	—	—	—	—	—	—	3	3	3	80	—	—	—	—	—	—	1	1	1			
50	132	61	83	309	—	—	54	54	363	90	8	7	—	15	—	—	20	20	35			
55	56	—	2	58	30	—	15	45	103	100	19	—	—	19	22	21	22	65	81			
60	26	3	—	29	—	—	11	11	40	125	—	—	—	—	—	—	2	2	2			
65	168	113	50	331	—	—	38	38	369	150	—	—	—	—	—	—	8	8	8			
										計	1,017	66	148	1,231	74	31	96	201	1,432			

鋼										鋼											
民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼					合計	民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼					合計
區分 寸法	神 揚	阪 揚	濱 揚	京 計	阪 揚	神 揚	京 揚	濱 揚	其 他	計	區分 寸法	阪 揚	神 揚	濱 揚	京 計	阪 揚	神 揚	濱 揚	其 他	計	合計
7/8"	90	90	1	190	—	—	—	—	—	190	3	239	300	43	582	2	—	12	14	596	
1	376	103	6	485	—	—	9	9	9	494	3 1/8	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
1 1/4	289	275	36	600	—	—	2	2	2	602	3 1/2	72	34	10	116	—	—	15	15	131	
1 1/2	502	204	60	766	—	—	10	16	16	782	3 5/8	42	—	42	84	—	—	—	—	84	
1 3/4	452	219	45	716	—	—	10	10	10	726	4	103	29	7	139	—	—	11	11	150	
1 7/8	89	—	—	89	—	—	—	—	—	89	5	110	19	5	134	—	—	12	12	146	
2	563	365	28	961	—	—	22	22	22	983	計	3774	1946	414	6134	2	—	142	114	6278	
2 1/2	833	308	131	1,272	—	—	31	31	31	1,303	總計	8,258	5,263	1,378	14,899	438	193	1,863	2,494	17,393	
2 3/4	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1											

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用品は官廳向に含む

三井鑛山商務部相場表

建 昭 和 4 年 月 日	品 種 相 場	豐 前 1 等 炭 (若 松 着 噸)	左 同 粉 炭 (左 同)	同 粉 炭 (〃)	筑 前 1 等 炭 (〃)	同 粉 炭 (〃)	同 粉 炭 (〃)	夕 張 塊 炭 (室 汽 船 乘)	級 炭 粉 炭 (〃)	三 池 水 洗 コ ーク ス (三 池 船 乘)	MMC 亞 鉛 (大 阪 倉 庫 百 斤)	亞 鉛 末 (〃)	EMK 鉛 (〃)
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
4, 5	相場	13.25	10.25	12.75	9.75	11.50	8.00	14.00	11.50	20.00	現 22.50 先 21.80	17.00	現 17.00 先 17.00
4, 15	"	13.25	10.25	12.75	9.75	11.50	8.00	14.00	11.50	20.00	現 21.50 先 21.00	24.00	現 16.20 先 16.20
4, 25	"	13.25	10.25	12.75	9.75	11.50	8.00	14.00	11.50	20.00	現 21.00 先 20.75	24.00	現 16.20 先 16.20
5, 6	"	13.00	9.75	12.50	9.00	11.25	7.50	14.00	10.50	20.00	現 21.20 先 21.00	24.00	現 16.20 先 16.20

販賣旬報 第91號 昭和4年5月11日

海外便り「英國に於ける薄鋼板製造工業と日本市場」(第三便)

(1) 最近に於ける英國の薄鋼板の生産高、海外輸出高及日本向輸出高は表の通りであるが、今黑板に付き其の海外輸出高の内容を國別に明にして見ると下表の通りで、吾が日本市場が英國の斯業にとつて如何に重要な地位にあるかを知らることが出来るであらう。

ブラックシート(％未滿)			向先/年次		1927年	1928年
種目\年次	1927年	1928年	日	本	110,976噸	139,435噸
全製造高	572,300噸	613,100噸	亞	爾	81,667	103,339
海外輸出高	302,530	366,900	英	領	14,497	26,569
日本向輸出高	110,976	139,436	加	奈	5,825	13,306
ガルバナイズドシート			濠	洲	22,783	11,444
種目/年次	1927年	1928年	ニ	ュー	3,344	2,207
全製造高	858,100噸	888,800噸	佛	國	429	380
海外輸出高	772,928	718,090	其	他	25,521	40,152
日本向輸出高	殆んどなし	殆んどなし				

(2) 「ガルバナイズドシート」に就ては本邦内地に於ける鍍金業の發達と共に、英國斯業界と日本市場とは殆ど没交渉の姿とはなつた。彼等は鍍金板の輸出に代へて日本市場へは黑板として、並に其他への販路の擴張を以て、巧に其の針路を變換してゐる。之を將來の問題として見るならば、現に支那、南洋諸島及安南印度諸國の相當重要な市場が殆

ど英國斯業界の支配上に在ると云ふ點に着眼せればならぬ、此等の東洋諸國は將來どうしても吾等の商標範圍の中に置かれねばならぬものとするならば本邦斯業界が爲されねばならぬ仕事の餘地は尙充分に残されてあると言はねばならぬまい。

(3) 英國は 10 枚物以下の黒薄板の日本向輸出を目標として特設せられた特別の組織が確立してゐる。次記の如き全英國の有力な工場を網羅して日本向輸出品のコントロールを目的として 1923 年に設立せられた Oriental Steel Co. が即其である。表面上の名義如何に拘らず内容は日本の關東共販會社名義にしたものと思へば間違ない、毎月第 3 水曜日に會合して、最低賣價其他の重要事項を協議する。加盟社中の重要なもの及其の商標は下の通りである。

Partridge James & John Parton	“Dolphin”
John Summers & Sons	“Staley Crown”
The Ebber Vale steel Iron & Coal	“EV”
Bovesfield	“William Pell”
Baldwin	“Phoerix”
Upper Forest & Wercester	“Koto”
Gilbertson	“Corvet”
Grovesend	“Ravein”
John	“Glabe”
Wellfield	“Stay”

(4) 英國の黒板全輸出高中日本向輸出が最も重要な地位に置かれつゝあることは前述の通りである。10 枚物以下の薄物が好んで需要せられるのは日本市場に依つて見られる現象らしく、この重大なる需要を目標とする統制を企圖したのが前記の組織である。全英國の各工場は此の會社を通ずるに非ざれば日本向輸出を契約し得ざることとなつてゐる、此の會社は一定の賣價を定めて何人にも賣り得るのであるが、此處に有力なる二三の Dealer があつて、自己の危険に於て此の會社に對し比較的大量の注文

を爲し會社の公定賣價より若干安價に引受け、日本から引合のある都度、之に引當ることを常態としてゐるが爲に事實上殆ど大部分の日本向輸出は此の二三の思惑商を通ずることとなる結果として、外觀的には、この二三の思惑商は事實上、この會社の日本向輸出指定販賣人たるの觀を呈し日本向輸出をコントロールするが如き地位に立つてゐる、この巨大にして且強力なる統制と組織の下に於ける彼等の活動は吾等の大に學ばねばならぬ點であるのみならず、苟くも日本に於て、黒板類を製造し、加工し、又は販賣せむとするものが常に注意して居らねばならぬものではなからうか。(倫敦にて 鈴木參事)

細丸輸入の決算

(1) 昨年 5 月末の細丸 爆發以來本年 4 月に至る其輸入數量を見ると掲表の如き結果となつた。

當時坊間流布せられて居た「細丸外注 1 萬噸」の聲を越ゆること正に 3 倍に近きものである、寸法別に就て見るに 9m/m が其中心たるは論なきも比較的 12m/m の數量の多きことが目立つて居る、また期節的に云へば前年中は順潮な數量であつたのに反し本年の不需要期たる 1、2、3 月に於て逐次に入荷の増加を示す様になつた、これは豫期した傾向とは云へ、其數量に於ては期待外れの大量を數ふるに到つた、然も 3 月に於ては大體終了する様に云はれて居たに係らず、4 月に於てかなりの入荷を見る始末となつた故此勢を以てすれば 5 月にも、餘喘を保つて居るのではあるまいか。猶京濱、阪神の地方別に輸入數量だけに就て見れば、一般の豫想する「9m/m は東京 12m/m は大阪」と云ふことは當らず寧ろ細丸は東京と云ふ結果になつて居る、然し内地生産の分布を見れば適確には斷言出来ない。

(2) 細丸市場の觀察の材料として其大宗たる 9 m/m 12 m/m の月別供給高を記録して見ると別表下段の通りとなる、(内地生産は當所、及び民間の生産合計にて發送高にあらず)、其市況も入荷數量の多寡により敏感に動いて居る、即ち 5 月以來一意騰勢にあつた細丸も 10 月初旬を最高潮として逐次反落時代に入つた狀況は別表と對稱して見ると明瞭に觀取せられる。又平均數量に現はれた通り地場の 12m/m の不況も全然其供給數量に左右せられる當然の結果と思はれる。

(3) 現在の市場は昔日のそれと異なり、常に需給關係に就ては細心の注意を拂ひ、無謀の輸入等により自他共に苦境に陥る如き愚を演ずることなき覺悟にあるとは一般に公言せらるゝ處なるも、一度狂奔の渦中に投ぜらるゝ時は兎角理性を失し易きものと見え、前年あれほど各自が警戒せる此細丸の輸入に就てさへ斯る結果を生ずるに至つたのである、蓋し輸入の統制は至難である。

昭和3年7月以降三港細丸輸入寸法別數量表 單位 噸

寸法	港名	昭和3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	昭和4年1月	2月	3月	4月	計
1/4" (6m/m)	神戸	22	8	11	75	65	2	62	260	148	56	709
	大阪	—	45	30	5	—	4	241	63	550	146	1,084
	横濱	—	20	6	118	187	107	413	274	298	182	1,605
	計	22	73	47	198	252	113	716	597	996	384	3,398
5/16" (7.5, 8, m/m)	神戸	10	25	49	23	77	22	81	437	9	—	733
	大阪	—	60	85	15	—	—	24	27	382	139	732
	横濱	—	23	72	107	293	89	369	345	174	169	1,641
	計	10	108	206	145	370	111	474	809	565	308	3,100
3/8" (9m/m)	神戸	—	7	118	458	323	61	72	631	267	52	1,989
	大阪	—	3	196	11	26	178	401	255	776	268	2,114
	横濱	—	89	144	263	1,411	851	1,981	1,679	818	1,012	9,248
	計	—	99	458	1,732	1,760	1,090	2,454	2,565	1,861	1,332	13,351
1/2" (12m/m)	神戸	1	103	41	185	121	409	216	723	25	91	1,915
	大阪	—	1	14	1	75	65	112	216	429	253	1,166
	横濱	3	65	50	298	407	750	644	960	2,142	740	6,059
	計	4	169	105	484	603	1,224	972	1,899	2,596	1,084	9,140
總計		36	449	816	2,559	2,985	2,538	4,616	5,870	6,018	3,108	28,995
9m/m	内地生産	5,207	4,176	4,754	1,706	4,797	4,051	5,159	4,854	4,725	未調	1ヶ月平均
	總供給數量	5,207	4,275	5,212	7,438	6,557	5,141	7,613	7,419	6,586		6,161
19m/m	内地生産	2,989	4,464	4,998	4,774	2,657	8,234	4,155	3,671	5,753	未調	1ヶ月平均
	總供給數量	2,993	4,633	5,103	5,258	3,260	9,458	5,127	5,570	8,349		5,528

4 月中主要鋼材三港輸入概観 — 薄板減少顯著

品名/港	神戸	大阪	横濱	計	本年累計	3年1ヶ月平均
丸	897	2,220	3,950	7,067	41,282	3,184
角	68	41	301	410	2,393	423
平	403	215	470	1,088	5,538	1,281
等山	344	337	777	1,458	10,541	1,380
不山	22	38	184	244	1,757	226
溝形	50	41	475	566	3,032	695
工形	179	288	267	734	8,720	1,055
鋼板(0.7耗超)	1,002	493	1,371	2,866	12,942	3,466
鋼板(0.7耗以下)	403	3,121	1,565	5,089	34,037	16,780
鉞力	2,003	—	2,936	4,939	19,629	5,297
軌條	785	679	2,160	3,624	11,434	3,611
線材	9,805	706	2,010	12,521	47,449	12,703
シートバイル	2,830	—	1,280	4,110	10,226	1,743
鋼管	1,892	1,582	3,457	6,931	16,115	4,409
其他	617	449	968	2,034	12,556	2,150
計	21,300	10,210	22,171	53,681	237,652	58,403

前月と比較するに總體としては約5,000噸の減少を見た、其主なるものは丸鋼の約4,000噸と、薄板の約2,000噸の減少である、然しながら前年の平均と4月までの數量とを比較して見ると、棒型鋼は全部増加の傾向にあることが觀

取せられるが特に目立つものは丸鋼、等山及工形の3種である、其内でも丸鋼は其尤たるもので前年平均から計算すると前年に比し已に3萬噸近く多量に輸入せられたことになつて居る、薄板は前年の殆んど半數に近い減少振りである、此は一に川崎造船等内地生産の振興を物語るもので邦家の爲め喜ぶべき現象である。

5月上旬線材、薄板、鉄力、輸入速報

港\區分	(1) 線材			(2) 薄板(0.7耗以下)	(3) 鉄力
	B.W.G. No.5	其他	計		
神戸	2,482	605	3,087	343	656
横濱	—	—	—	389	934
計	2,842	605	3,087	729	1,590

備考 神戸自5月1日至7日、横濱自5月1日至6日。

豫告の通り細丸輸入の掲載を止めて改めて薄板及び鉄力の速報を開始したが今度は第1回の事として兩港共約1週間分の數量にて猶大阪港が加はらないので兎角の事は云ひ兼ねるが大體薄板の輸入は尠ない様である、然し線材の神戸は不相變多いのが目立つて居る。

クレオソート油、ピッチ及びベンゾール類

(1) クレオソート油値上 市價は見るべき程の變化を見せなかつたが、既報の通り昨年1月以降4月までに當所が合計5,900噸餘の輸出を行つて以來、内地の需給は調節せられ場面強調のまゝに推移して、先月來有力な生産會社では相當の値上が報せられて居る。當所クレオソート油は、品質、數量、受渡設備等の點で輸出向として獨歩の地位を占めて居る關係から、今春來再び輸出向大口需要が急増して來た。但し鐵道省本年度契約の都合上未だ1回の引受けも爲さないが引繼ぎ本年度も需給状態は好調を持續するものと考へられる。以上によつて4年度中渡新價格は1圓値上の事として次記の通り改正した。1口300噸以上契約の場合金70圓1口300噸未滿は金71圓(當所工場渡正味1噸に付)

(2) ピッチ不振 ピッチ不振の聲は久しく聞く所である。各社とも多量の在庫品を有して極度の苦境に立ち、その處分に行詰つた結果1、2の會社は遂に少し纏つた需要先には随分思ひ切つた安値で商談を進めて、持届渡17圓を割つたとの聲はかなりの舊聞に屬する。之も對策上止むを得ぬ所であらうが、各社とも猛烈な販賣競争のみに走らず需要量は年々漸次減少の傾向著しい内地需給状態から觀て、根本的對策の研究を爲すべきでなからうか。當所は以上の一助策として優良を誇る品質を武器として豫てから極力輸出に意を注ぎ、販路の開拓に努めて居るがともすれば外國品の競争に影響せられて、此の方面にも前途の多難を想はせて居る。當所ピッチ本年度一般價格は1噸に付2圓値下の餘儀なきに至つた。1口300噸以上契約の場合金22圓1口300噸未滿は金23圓(當所工場渡正味1噸に付)。

(3) 5月6月渡ベンゾール類新價格 昨年11月12月渡定期契約の中止によつて漸く需給を調節した當所モーターベンゾールは、引續く需要量の増加と、染料會社方面の熱望に添つて純ベンゾール各月生産高を増加した結果必然的に前者の減産を來して、今期5、6月渡供給可能量は僅かに550噸と云ふ少量となり、再び豫期以上の供給難に陥つたが、揮發油市場極度の不況による當所品實需要者の希望を容れて、特に今期價格は5圓値下の事にした。ソルベントナフ、100%ベンゾールは前期3、4月渡に比して一層供給量の不足を來して値下の餘地なく依然今期も据置の事とした。

モーターベンゾール 70噸以上契約の場合金175圓、35噸以上は金185圓、35噸未滿は金195圓、100%ベンゾール金230圓、ソルベントナフは30噸以上契約の場合金170圓、30噸未滿は金175圓、テレメン油金175圓。

(當所工場構内渡容器付1噸=付)

東西市況—低調

運賃關係による海外安もさる事ながら、それよりも地場の消化力が今の時期としては期待外れに尠なく、随つて手持も豊富で仲間取引が閑寂なので人氣腐れの感がある、然し型物などには實需家筋から相當大口の引合もあるがこれも特定の店に行く事として一般には大した好感も與へられず一般的には至極低調と見られて居る。

東京市況

丸鋼 荷凭れ愈々甚だしく特にベース物の氣配益々軟弱にて目先好轉も心もとなしと見られて居る。

角、平鋼 角の戻りは不變、平は入荷相不變減退の様子なきを以て流石に人氣薄となり氣配も軟弱に傾むいて居る。

と見られて居る。

型鋼 前旬と大した変化もなく他に比し荷動きも相當ありて一般には戻りてある、等山在荷潤澤にて不冴、不等山保合、溝、工共ボツボツと品掠れるものもあり高値保合を繼けて居る。

鋼板 相不變の好調を續け就中 1.6×3×6、3.2×4×8、4.5×3×6など強調と云はれて居る。

大 阪 市 況

丸鋼 市況閑散の度深く前途期待薄から手持賣急ぎの氣分濃厚となり落潮滔々、今やベース9圓 50 錢臺も危ふしと見られて居る、細丸も一段と氣乗薄にて前旬に比し 1、20 錢の下押しを見た。

角、平鋼 角、平共丸鋼の氣配に押されて賣腰弱く幾分軟弱と云はれて居る。

型鋼 等山は 65m/m、75m/m もの又一段と安く、大型物及不等山は入荷も相當消化され保合つて居る、工、溝は値上り一巡後も少し纏つた引合毎に品薄を告げ擡頭せん形勢にある。

平板 未だ斯界の花形たるを失はず 1.6×3×6 は漸騰、3.2×4×8は當所品の入荷により稍緩和せられ、1/4" 以上の厚物は川崎造船所よりの入荷を見て高値買は一般に警戒されて居る。

鋼材寸法變更料と重軌條色別

(1) 昭和 4 年 4 月 17 日附を以て寸法變更料徴收に關し下の通り規定せられた。

寸法變更料徴收の件

今後寸法(長さのみ)變更の要求ありたる時は下記に據り處理す

記(1) 定期及先物の長さ變更の場合は 1 吨に付金 2 圓の變更料を徴收す。(2) 新作注文のもの長さ變更の場合は 1 吨に付金 5 圓以内を徴收す。但し事情審査の結果不得止ものと認めたる時は前二條の變更料を徴收せざることを得。

(2) 猶當所製品重軌條は既に下記の通り改正實施され居るも未だ一般に徹底されざる故改めて發表する事にした。

下 記

甲號品.....綠色又は空色 乙號品.....白色

外 國 爲 替 市 中 相 場

區分/月日	Apr. 30	May. 1	2	3	4	6	7	8	9	10
日 英	1/10-3/2	1/10-3/16	1/10-5/32	"	1/10-1/8	1/10-3/22	"	1/10-1/32	1/11-1/8	"
日 米	44-1/8	44-7/8	44-13/16	"	44-3/4	44-1/16	"	44-9/16	44-3/4	"
日 佛	11.35	"	"	"	"	"	"	11.30	"	"

備 考 日佛のみ正金建値。

昭和 4 年 4 月當所製品揚地別發送高表 單位 噸

品名	揚地別	阪神地方	京濱地方	當所	伊勢灣東海道地方	山陰北陸地方	内海沿岸四國地方	奥羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿鮮關東州地方	支那	臺灣	其他	合計
鋼 材	官廳向	3,826	2,811	86	8	153	575	387	1,466	4,646	911	—	2,331	—	17,200
	民間向	21,683	18,853	4,760	2,688	39	14	404	622	173	116	—	—	—	49,352
	計	25,509	21,664	4,846	2,696	192	589	791	2,088	4,819	1,027	—	2,331	—	66,552
鋼片及鋼塊		1,142	1,516	1,497	43	—	520	—	3,235	—	—	—	—	—	8,003
副 製 品		60	598	13,527	229	—	2,068	—	984	—	—	—	—	—	17,483
合 計		26,711	32,348	19,870	2,963	192	3,177	791	6,57	4,819	1,027	—	2,331	—	92,021

昭和4年3月中國別輸入數量表 (單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	奧	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 計
條及竿鐵 <small>(丸、角及平形にして徑 は又は前15m/mを超 えざるもの)</small>	332	420	4,349	966	5	78	61	7				6,218	18,196
〃 (丸、角、平のもの其他)	152	1,604	2,743	819	267	21	52	322	2		1	5,984	20,476
〃 (テー形及アングル形)	1,305	336	2,216	486		23		104				4,470	15,563
〃 (其 他)	210	2,675	1,950	379				1				5,215	16,595
レ		115	1,072					2,117				3,304	8,544
フイシユ、プレート		220	29					77				326	491
ワイヤーロッド <small>(巻きたるものにして徑 5m/mを超えざるもの)</small>	351	1,362	6,795	539	53	307	403	2,599			101	12,510	41,332
〃 (巻きたるもの其他)													4
鐵 板 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざる珪素鋼板)</small>	122		160					437				719	2,231
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7m/mを超えざるもの其他)	4,206	51	1,036	42				1,058				6,263	27,483
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3 m/mを超えざるもの)	132		1,106	114	11		32	280				1,675	5,621
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	560	20	868	122	1		3	52				1,626	11,456
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	1,902		4					5,207				7,113	19,702
〃 (亞鉛鍍したるもの)	3		123								37	163	324
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	31		214	10	1	5	3	233				497	1,425
鐵 線	10		22		4		21	161				218	1,045
リ ー ド、ワイヤ	1	2										3	13
鐵 リ ボ ン	55	2	268			78	61	13				477	1,312
帶 (箍 鐵)	63	30	2,518	198		101		46			25	2,981	8,255
パラゴン、ワイヤ	9											9	45
線 索	16		6					8				30	95
撚 合 線								1				1	50
バーブド、ツイスト、ワイヤ													
鐵 筒 及 管	515	708	1,212	111		59	11	1,702			7	4,325	11,342
特 殊 鋼(稅表一)	17		6		38		25	35			29	157	380
〃 (稅表二)	2		1		55		33					91	192
鐵道車輛用車輪及車軸													38
鐵道車輛用タイヤ													106
鐵道車輛用スプリング													
合 計	9,814	7,545	26,748	3,786	435	672	705	14,461	9		20	64,375	211,321
フエロ、マンガニース	365		1				3					369	397
フエロシリコン及 シリコスビーゲルアイゼン	10						51					61	81
其他ノ不可鍛成鐵合金	16		5				9					30	73
シ ー ド バ ー(ティンバーを含む)		459	3,093	6,949		332		816			987	12,636	34,288
インゴット、ブルーム、 ピレット及スラップ	63	513	2,058			201		13				2,848	9,204
ケツグスチール及バンブスチール							63					63	269
其 他 の 塊 及 錠 鐵													
合 計	54	972	5,157	6,949		533	126	829			987	16,007	44,312
銑 鐵	559							2,201	23,352	41,200	1,470	68,782	189,408
屑 及 故 鐵	1,157	7	56	497		14		9,417	121	17,179	6,368	34,816	108,187